

美サイクル茅野 創立20周年記念事業

ゴミの減量化・紙類の更なる資源化へ

美サイクル茅野 創立20周年事業推進委員会

「美サイクル茅野創立20周年を向えて」

美サイクル茅野 会長 土橋 英一

美サイクル茅野創立20年の歩みは、画期的な市民と行政の提言により循環型の思想のもと、幾つかの他に類を見ないルールを作りスタートしました。茅野市が環境分野においては今でも他から注目を仰ぐのも、常に茅野市民の協力があってこそその賜であります。我々の日本国は残念ながら資源のない国であります。共に資源を大事にしながら、そして取り決めに徹底しゴミ減量に努め、どこよりもこの我が街茅野市が、きれいで住み良い環境を構築できるよう邁進して行きたい。……次世代に禍根を残さないよう……



リサイクルステーションで収集された紙類の、出荷までの工程

市のリサイクルステーションから回収される古紙類は、直接に茅野市美サイクルセンター古紙圧縮梱包施設に送られます。圧縮梱包された古紙は、製紙工場のトラックが取りに来て出荷します。製紙工場のトラックは、新聞の印刷前の原紙を新聞社に運んで来て、その帰りの便で茅野市の古紙（「新聞紙」「雑誌類」「段ボール」）を製紙工場まで運搬します。



玉川コミュニティステーション



美サイクルセンター古紙梱包施設



梱包された古紙

紙の分別を進めるために

紙は不用になった時から、分別が始まります。その他紙・雑誌類を入れる専用の場所を設け、可燃ごみとしないよう心がけます。新聞の折り込み広告は新聞紙と一緒に束ねます。通販などでたくさんたまる段ボールは、粘着テープ・タグを取り除き、たたんで保管します。



製紙会社のトラックに積み込み

「美サイクル茅野創立20周年記念事業」の取り組み

美サイクル茅野 ごみ減量部会 五味 倍雄

美サイクル茅野は創立20周年を迎えました。今までに、ごみ減量、環境美化、環境教育等の活動を行い、いくつかの提言をいたして参りました。活動を進めるなかで、ごみの減量において、もっとできることはないか、まだできることはないかと模索してまいりました。分別収集においては、ほとんどの資源物の分類は網羅されています。そこで、可燃ごみの中身をもう一度見直してみることにしました。

可燃ごみの成分（乾質重量比）で最も多い物は紙類であり、43%程度あり、もって資源に回る紙があるのではないかと考えました。そこで、美サイクル茅野創立20周年の記念事業として、初心の減量化に根差し、紙の更なる資源化を推進することを行う事としました。この推進により、リサイクル率の向上と、可燃ごみの減量化率に目に見える形で、成果を期待したいと考えます。

紙は分別して古紙になる ～都市は広大な森林資源～

不用になった紙は、再生（回収）ルートに乗せてはじめて、古紙として生かす事ができます。紙は、その原料となるパルプの種類によって品質や特性が異なります。そのため、製紙工場では一定の品質の紙を作るため、原料として使用する古紙の種類をそろえなければなりません。回収の段階できちんと分類されていないと、製紙工場では製紙原料としてそのまま使用できなくなってしまいます。また、紙以外の異物が混ざっていると、大きな支障が生じます。このようなことから、紙パック類を除き、「新聞紙」「雑誌類」「段ボール」の3種類に分類します。この分類は、皆様のご家庭から始まっています。紙をリサイクルすることにより、都市は広大な森林資源とも言われます。古紙の分別収集にご協力ください。



ごみ減量部会員Cさん宅



Aさん宅米櫃の横にプラ その下に雑誌、横に可燃ごみ



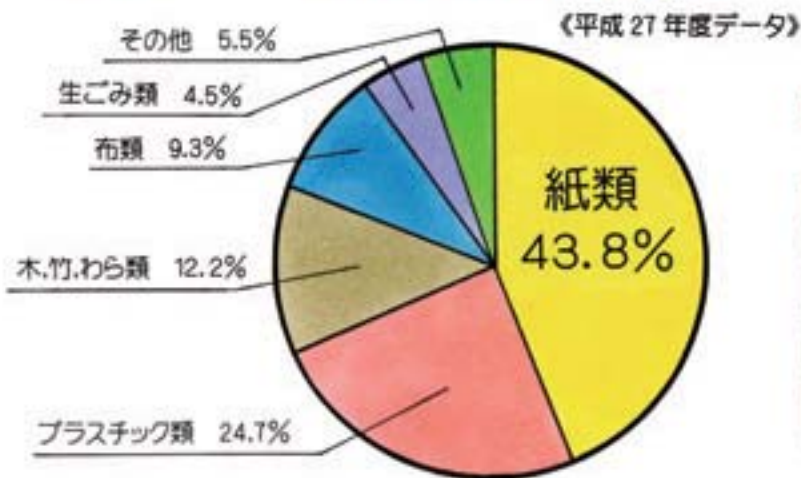
某事務所の紙置き場

もえるごみの約半分は紙類です!!

分ければ資源・まぜればごみ



—もえるごみの状況—



なぜ減らすの?

- もえるごみの減量
- ごみ処理費の削減
- 焼却場の負荷の軽減
- 環境への負担軽減

資源となる紙類



●注意 ▶ただし、以下の紙は「もえるごみ」です

特殊加工紙（防水加工、ビニール加工） 紙コップ 紙皿 写真用紙 紙製カップめん容器
 カーボン紙 宅配便などの複写伝票 匂いのついた線香などの箱 レシート 感熱紙 油紙
 ピザの箱 汚れた紙 粉洗剤の箱 シュレッダーされた紙 手でつぶれない芯…などです。